# 運航者撤去作業計画(航空運送事業者向け)

※本計画は運航者が空港に乗り入れる前や空港使用届を提出するときに、航空機型式に応じた運航者撤去作業計画の提出が必要です。

# 運航者撤去作業計画

# (航空運送事業者向け)

年 月 日

所属 撤去責任者氏名 住所 電話番号 E-mail

航空機が航行不能となった場合に備えるため、航行不能の種類に応じ【デボッグ編】【リカバリー編】【サルベージ編】について、それぞれ該当する型式に応じた運航者撤去作業計画を提出します。

なお、記載事項において、撤去に関する実施体制が整わない場合又は空港管理者から空港の運用に甚大な影響を及ぼすと判断された場合への迅速な対応を確保するため、「航行不能航空機撤去作業に関する同意書」を提出し、空港管理者及び撤去作業関係者に撤去作業の一部又は全部を委託します。

また、以下に記載の撤去に必要な資機材のうち、貴空港において調達できない状況が生じたものについては、別途、当該リストを明らかにするとともに、対応について相談・調整します。

# 運航者撤去作業計画【デボッグ編】

所有者	
航空機型式及び	
登録記号	

航空機の損傷が比較的軽微である場合又は損傷が全くない状態で、滑走路又は誘導路上で航空機が動けなくなった状態や滑走路等からの逸脱した状態において、航空機を移動させる場合

#### 【撤去方法の概要】

撤去の機材と作業員がどのようにいつからどの程度の時間を掛けて、撤去し、機体はどこへ搬出するのか等の概要を記載する。

#### 1.運航者撤去作業体制

(※必要に応じて組織図等を添付すること。夜間等の緊急連絡先を含めること。)

#### (1) 機体所有者

会社名	
氏名	
住所	
電話番号	
E-mail	
所有者	
電話番号	

※個人所有者の場合は、相当する項目のみ記載すること。 共同所有の場合は、代表者が全所有者を代表して記載すること。

#### (2)運航委託会社

会社名	
所属	
役職	
氏名	
住所	
電話番号	
E-mail	

※所有者以外の者が運航を行う場合に記載が必要です。氏名は代表的な運航者を記載してください。

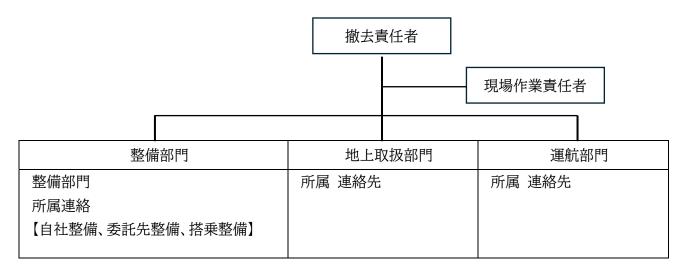
(3)	撤去	:責	任	者

会社名	
所属·役職	
氏名 住所	
住所	
電話番号	
E-mail	

# (4)現場作業責任者

所属·役職	
氏名	
電話番号	

### (5)運航者撤去作業体制



本社・支援部門等(※必要に応じて保険会社等)所属

所属	連絡先			

### 2.機材並びに要員リスト(※必要に応じて委託先を含むものとする。)

### (1)機体移動に必要な機材リスト

機材の種類	牽引車	航行不能となった滑走路から機体を○○航空事業所まで移 動させる。
保管場所	空港内〇〇航空事業所	
機材提供者	○○航空事業所	○○航空事業所は航行不能航空機と同種の小型の運航、整 備を行っている。
貸借方法等	スポット契約	○○航空社とはあらかじめ航行不能航空機事案発生時には 支援作業に応じた支払いを行う協定を締結している。
搬入方法等	自走	必要に応じて空港管理者に先導してもらい、○○航空事業所 から同社により自走
その他		

<sup>※</sup>空港外から大型機材を搬入する際には空港周辺・空港内の搬入ルートを示す図を添付すること。

### (2)機体移動に必要な要員リスト

担当部門	社名/所属	人数	備考
整備	○○航空□□空港事業所	2	当該機の牽引
地上取扱	//	1	//
運航	//	1	
その他	自社	2	当該航空機搭乗員

### (3)関係機関リスト及び連絡先

関係機関名	連絡先	調整項目

### 3. 航空機部品等の手配・調達方法

# (1)鳥取空港における予備品(航行不能に関係しそうなもの)

年 月 日現在

航空機型式	部品名	数量	備考

### (2)自空港以外から搬送する航空機部品等(撤去に関連するもの)の手配・調達方法

手配•調達方法等	時間(目安)	備考
		空港支店に配置
		空港外から手配
		空港外から調達

### (3)その他参考となる事項

融通先の航空会社の緊急時連絡先・在庫状況を定期的に確認すること。

航空機製造者が提供する対象型式の航空機リカバリーマニュアルを添付又は航行不能航空機事案発生で 必要な際には直ちに提供すること。

### 4.撤去作業に関する方法

# ・作業フロー及び役割分担

項目	担当	作業概要	時間(目安)
整備担当	整備、地上取扱担当計 3	牽引車、トーバー、予備タイヤ等を当該機まで搬	20 分
現場派遣	名	送(必要に応じて空港管理者による先導)	20 分
牽引	整備、地上取扱担当計 3	機体のブレーキリリース可能等のチェック実施、	10分
可否判断	名	トーバーを取り付けられるか確認	10/J
旅客降機	なし		
機体移動判断	整備担当	機体全体の点検を実施、現状で移動可能と判断	10分
機体移動準備	整備、地上取扱担当		5分
在庫確認			
手配指示			
領収手続 (内変等)			
機体移動作業	整備担当	牽引車により牽引、他の車両に搭乗した整備員 が牽引中問題ないか機体を監視	15 分
機材・人員手配			
タイヤ運搬			
交換作業 (1 本当り)			
牽引			
路面清掃等	整備、地上取扱担当(空港管理者)	FOD 回収(必要に応じて可能であればスイーパ 一車による清掃実施)	20 分
合計所要時間			80 分

### 5.その他参考となる事項

撤去機材を空港内に一時的保管する場合はその保管場所、保管方法等 記入例: 当該空港内にある〇番スポットに保管、修理を行う予定。

# 運航者撤去作業計画【リカバリー編】

所有者	
航空機型式及び	
登録記号	

滑走路からの逸脱又は閣座、前脚又は主脚を含む損傷等のため、航空機リカバリーキット又はクレーンのような重機等を使用しなければ航空機を移動させることができない場合(全損を除く。)

### 【撤去方法の概要】

撤去の機材と作業員がどのようにいつからどの程度の時間を掛けて、撤去し、機体はどこへ搬出するのかの概要を記載する。

### 1.運航者撤去作業体制

(※必要に応じて組織図等を添付すること。夜間等の緊急連絡先を含めること。)

# (1) 機体所有者

会社名	
氏名	
住所	
電話番号	
E-mail	
所有者	
電話番号	

※個人所有者の場合は、相当する項目のみ記載すること。 共同所有の場合は、代表者が全所有者を代表して記載すること。

#### (2)運航委託会社

会社名	
所属	
役職	
氏名	
住所	
電話番号	
E-mail	

※所有者以外の者が運航を行う場合に記載が必要です。氏名は代表的な運航者を記載してください。

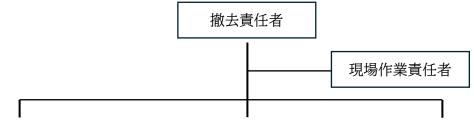
# (3)撤去責任者

会社名		
所属·役職		
氏名		
住所		
電話番号		
E-mail		

# (4)現場作業責任者

所属·役職	
氏名	
電話番号	

# (5)運航者撤去作業体制



整備部門	地上取扱部門	運航部門
整備部門	所属 連絡先	所属 連絡先
所属連絡		
【自社整備、委託先整備、搭乗整備】		

# 本社・支援部門等(※必要に応じて保険会社等)所属

所属 連絡先		

- 2.重機等並びに要員リスト(※リカバリーキットを手配せず撤去する場合)
- ※重機等の搬入経路は空港管理者と調整すること。

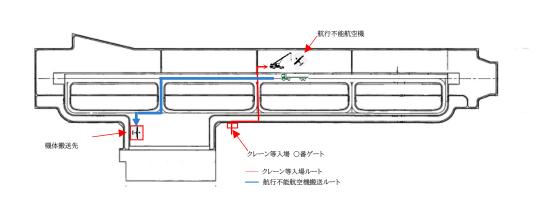
# (1)重機等リスト(クレーン(レッカー)車、台車、敷板等のリストを記入すること。)

機材の種類	クレーン車〇t	
場所	○○市○○区○○・・・ 通常は空港から普通車で 10 分以内	
機材提供先	○○建機レンタル(株) ○○事業所	
搬入方法•経路等	○○建機レンタル(株) ○○事業所から県道○号線により空港まで自走で移動	
	大型車両 3 両の移動に 15 分(移動開始後)かかる見込み(最速の場合) クレーン車などの前に先導車両 1 台あり クレーン車の通行にあたり道路通行許可等は不要。	
その他	通常、クレーン車はレンタルされていることが多いので、いつでも対応できるわけではない。 車両の搬入、クレーン操作は同社で対応可能とのこと。	

※空港外から大型機材を搬入する際には空港周辺・空港内の搬入ルートを示す図を添付すること。



空港までの搬入ルート(例) Google map を利用

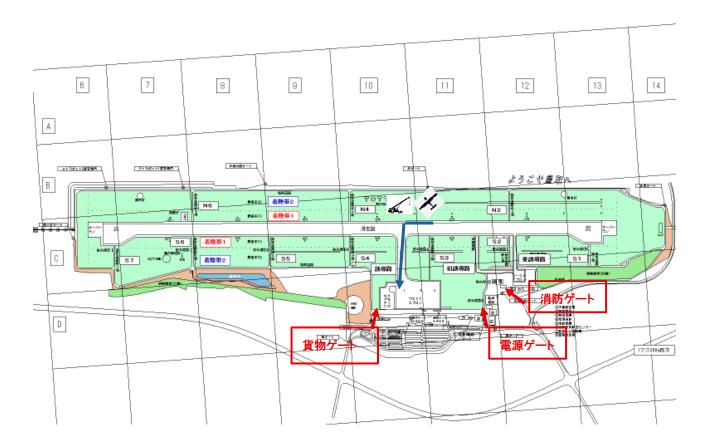


空港内の搬入ルート(例)

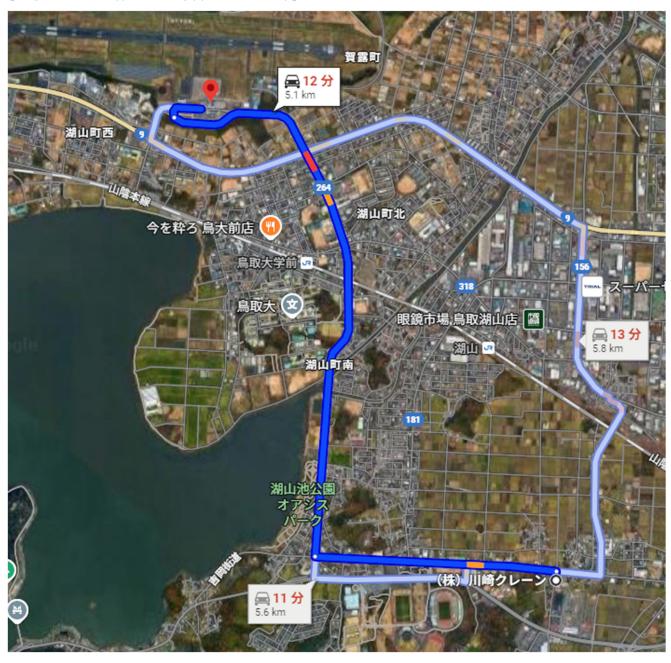
## 【鳥取空港までの搬入ルート例(原商)】



【鳥取空港クレーン等搬入ゲート(赤)、撤去航空機搬送ルート(青)(例)】



### 【鳥取空港までの搬入ルート例(川崎クレーン)】



### (2)機体移動に必要な要員リスト

社名/所属	人数	備考
○○航空 ○○空港事業所	5人	パイロット2、整備士4人
□□航空 ○○空港事業所	4 人	パイロット2、整備士2人

# (3)航空機型式の最大離陸重量(MTOW)

航空機型式	重量(トン)	備考

航空機型式	重量(トン)	備考

※1 ポンド(lb)=453.59 グラム(g)、1トン(t)=2204.62 ポンド(lb)

### (4) 航空機リカバリーキットの手配・調達方法

- ※航空機リカバリーキットには必要な要員・重機等の手配がパッケージとして含まれている。
- ※IATP Web site ⇒ https://www.iatp.com/

### ①IATP (International Airlines Technical Pool)への加盟状況

IATP への加盟状況	有·無
IATP に加盟していない場合、必要に応じてスポット契約するか等	
リカバリーキットの具体的な入手方法	

(※事前契約ではなく事案発生時に契約する場合はその方法を記入すること。)

# ②航空会社相互間の共同利用協定(プール協定)等の締結状況

項目	有無	航空会社名
撤去機材	有・無	

# 3.撤去作業に関する方法

# 作業項目及び役割分担

(※必要に応じて項目及び作業概要を追加すること。)

項目	日及び作業概要を追加り担当	作業概要	時間(目安)
整備担当現場派遣	整備担当 (運航者の整備担当が不	空港内事業所から現場へ向か う(必要に応じて空港管理者	
航行不能航空機の 状況調査	・撤去責任者 ・空港管理者担当者(状 況を写真等で記録)	<ul><li>・航行不能航空機の状態確認(電気系統、液依の流出)</li><li>・燃料等流出の状態確認(流出防止措置、路面清掃)</li><li>・機体及びエンジンメーカーからの情報収集</li><li>・危険物等の搭載状況確認</li><li>・重量及び重心位置の確認</li><li>・旅客降機の必要性判断</li></ul>	
空港基本施設の点 検	空港管理者担当者	<ul><li>・滑走路点検</li><li>・滑走路灯、中心線等の灯火 点検</li></ul>	30 分(撤去作業とは並行して 実施)
リカバリーキット等 の使用可否判断	撤去責任者	搬出に通常のクレーンによる スリングで対応可能か判断	10 分
重機等・人員の手配又はリカバリーキットの手配		これまでの調査により具体的 な撤去計画案を検討、それに 基づき重機、要員等の手配	
重量軽減の調整	撤去責任者	・燃料等抜き取り ・郵便物、手荷物、貨物等の取 り下ろし	5 分
関係機関との調整	撤去責任者	•撤去に必要な行政手続等 事業所事務室で実施	(20分) 重複して作業を実施できるの で合計時間には含まない
重機等の搬入又は リカバリーキットの 搬入		•移動手段	30分
航空燃料等 抜き取り	撤去責任者	必要か判断 残存燃料の計算	5 分

郵便物、手荷物、貨物 等取り下ろし	撤去責任者	必要か判断	
機体の保護	撤去責任者	・機体部品脱落防止及びエンジンの保護 必要か判断	5 分
撤去作業	撤去責任者	<ul><li>・機体の安定化(水平化)</li><li>・機体の持ち上げ(リフティング)</li><li>・移動に当たって保護材要否</li></ul>	60分
ギアの修理又は交換(ギアの検査)	撤去責任者	必要か判断	
機体のけん引	撤去責任者	・けん引又はウィンチ・移動式ト レーラーによる移動	20 分
路面清掃等	整備、地上取扱担当(空港管理者)	FOD 回収(必要に応じて可能 であればスイーパー車による 清掃実施)	
合計所要時間			215 分

### 4.航空機からの燃料の抜き取りに関する方法

### (1)航空機型式毎の最大燃料搭載量

航空機型式	燃料量(lb)	備考(燃料の種類等)

#### (2)燃料の抜き取り方法

機材等	
関係機関	
方法等	

(※必要に応じて、消防機関を含む関係機関との連絡調整及び抜き取った燃料の処理方法等を含めること。)

### 5.航空機リカバリーマニュアル

航空機製造者が提供する対象型式の航空機リカバリーマニュアルを添付又は航行不能航空機事案 発生で必要な際には直ちに提供すること。

### 6.その他参考となる事項

撤去機材を空港内に一時的保管する場合はその保管場所、保管方法等

記入例:当該空港のスポット〇番に移送、一時保管、場所を協議後、修理を行う予定。期間は未定だが 1 ヵ 月程度を想定しています。

# 運航者撤去作業計画【サルベージ編】

所有者	
航空機型式	
登録記号	

航空機が全損した場合や海上における事故等 (※撤去作業の詳細は、【リカバリー編】による。)

### 【撤去方法の概要】

撤去の機材と作業員がどのようにいつからどの程度の時間を掛けて、撤去し、機体はどこへ搬出するのかの概要を記載する。

### 1.運航者撤去作業体制

(※必要に応じて組織図等を添付すること。夜間等の緊急連絡先を含めること。)

#### (1)機体所有者

/ 1/2(11 / / 113 14	WATT // TG H		
会社名			
氏名			
会社住所			
電話番号			
E-mail			
所有者			
電話番号			

※個人所有者の場合は、相当する項目のみ記載すること。

共同所有の場合は、代表者が全所有者を代表して記載すること。

### (2)運航委託会社

会社名	
所属	
役職	
氏名	
会社住所	
電話番号	
E-mail	

所有者以外の者が運航を行う場合に記載が必要です。氏名は代表的な運航者を記載してください。

(3)	撤去責任者	
ź	会社名	
戸	斤属	
往	<b></b> 安職	
住	主所	
į	連絡先	
(4)	現場作業責何	任者 任者
	会社名	
戸	斤属	
衫	<b></b> 安職	
į	車絡先	
(本社	本社・支店連 生) 近属・役職	
-	が属する職  近在地	
-	 重絡先	
(支/	吉)	
3	支店名	
٦ F	沂属·役職	
بر	沂在地	
j	車絡先	
	その他緊急。 空機製造者)	連絡先(航空機製造者·整備会社)
	会社名	
	所属•役職	
	所在地	
	連絡先	

/ 由分 /	備会社)	١
( 🌣	庙学杆	į
\ <del>E</del>	/四 🕰 1上/	•

会社名	
所属•役職	
所在地	
連絡先	

### (警備体制等)

会社名	
所属•役職	
所在地	
連絡先	

# 2.その他参考となる事項

撤去機材を空港内に一時的保管する場合はその保管場所、保管方法等

(例)一旦、滑走路から当該空港の電源局舎前の空き地に移設し、分解して空港外に撤去予定。期間としては機体メーカー等の調査(1ヵ月程を想定)が完了後2週間程度を予定しています。